



# 今後の支援体制（輪島市復旧支援協定）

## 1. 協定締結の背景

発災直後から総務省職員派遣制度で、本市から2名の職員が輪島市に派遣され、本部体制構築等の災害対応マネジメントを実施し、輪島市から感謝と信頼をいただいた。帰吹後も随時相談を受け、人脈を繋ぐ等支援を続けている。

吹田市長としては、せっかくできたご縁なので、吹田市にしかできないような、お互いに手ごたえを感じる支援を実施したいと思い、輪島市長とも直接調整の上、本協定の締結に至った。

協定期間は「復旧期」とし、令和6年度末までの概ね1年間※とするものとする。  
 ※協定では、期間を設定するものの、必要に応じて双方合意の上、期間延長も可としている。

## 2. 輪島市の現状

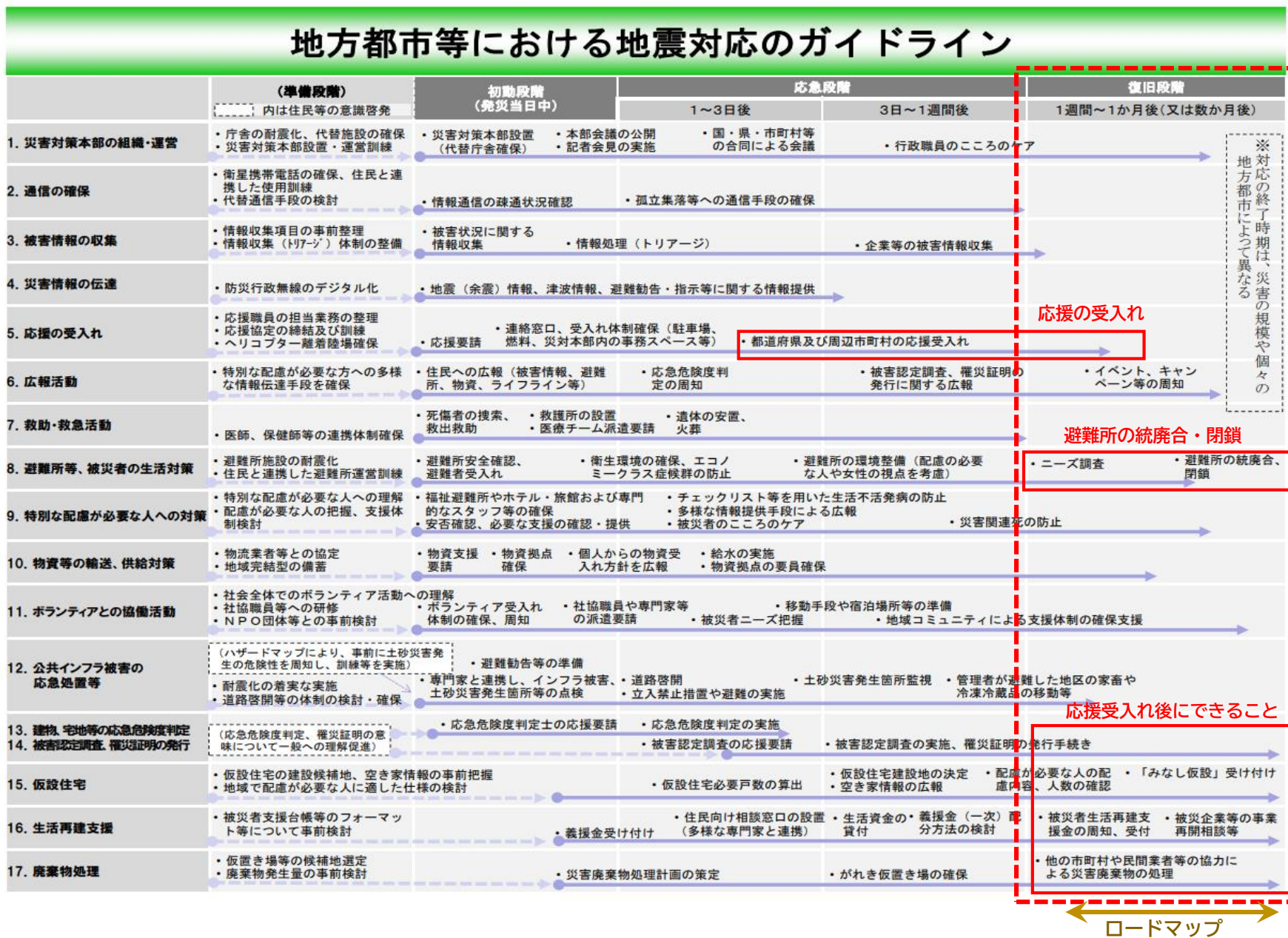
輪島市がお困りになっているのは、「受援担当（人事課）の人手不足」と「“復旧期のしまい”までのロードマップ」。

復旧期として、輪島市が完了していない主業務は「避難所の統廃合・閉鎖」「応援受入れ」。また、避難所閉所に伴い支援が必要とされる被災者への寄り添った支援（災害ケースマネジメント）の実施が必要。

## 3. 支援の概要

輪島市の意向をふまえ、輪島市が復興に向かう上でボトルネックになっている復旧業務に焦点をあて、国の中長期の職員派遣制度では届かないような細やかな行政マネジメント業務を支援する。

- ・「復興本部体制の立ち上げ（ロードマップ）支援」
- ・「避難所の閉鎖工程作成、閉所支援」
- ・「受援マネジメント支援」
- ・「被災者への寄り添った支援対策（災害ケースマネジメント）支援」



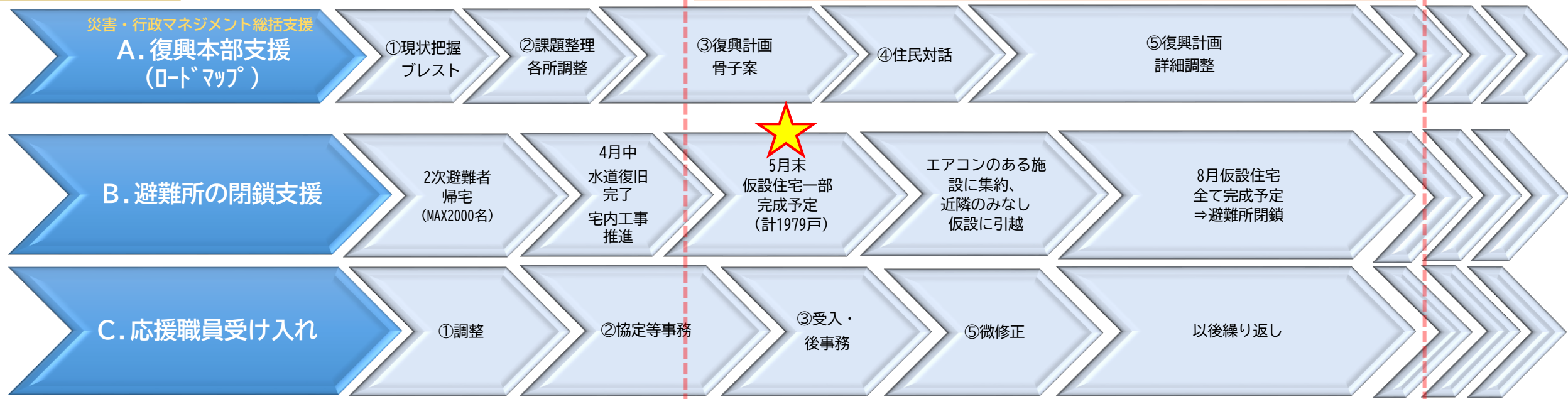
# 輪島市復旧支援協定に基づく支援プラン案

## ■支援プラン

★4/3 協定締結 4月

5・6・7・8月

9月



5月末 応急対策職員派遣制度 短期派遣  
総括支援チーム・対口支援約300名撤収

## ■人的支援派遣予定

派遣先	担当	4/16-30	5/中旬	6/中旬	7/中旬	8/中旬	9/中旬		
A. B. 総括マネジメント 輪島市災害対策本部・復興本部のマネジメント総括支援	危管	4/16-30							
B. C. 先遣隊 防災対策課、人事課、福祉課、避難所担当と業務スキーム調整、本隊の活動拠点調整・整備	危管、人事福祉、消防	4/23-5/2※ ※2名は5/15まで							
B. C. 本隊 (3名/陣 期間中6名程度配置)	危管 + 各部局		第1陣 5/1-5/31(3名)	第2陣 5/16-6/15(3名)	第3陣 6/1-6/30(3名)	第4陣 6/16-7/15(3名)	第5陣 7/1-7/31(3名)	第6陣 7/16-8/15(3名)	第7陣 8/1-8/31(6名)
受援マネジメント支援 避難所集約・閉鎖支援 災害ケースマネジメント支援	危管 + 各部局	※シナリオ I：プランに基づく支援 II：本市において災害対策本部が設置→派遣隊引き揚げ検討 III：輪島市以外で大規模災害発生→派遣縮小、災害支援を継続							